

履歴書

2012 年 4 月 26 日現在



ふりがな		たさき	ゆうじ
氏 名			
田崎 裕児			
出身地		年齢	※
福岡県 福岡市		(満 30 歳)	男・女
参加した NICE ボランティア		分野	
ギリシア、トルコ、各種週末		環境、農業、地域活性	
場所	ギリシア・イタキ島など		
(国・市町村まで記入)			
受け入れ団体	CVG(ギリシア) など		
			満足度
			100 %
			活動のやりがい度
			80 %

こんなボランティアでした
【ギリシアのワークキャンプ】非常に自然が美しい、エメラルドグリーンの海を持つ島で バカンスの客の出したごみの清掃などの活動。夜は、国際色豊かなメンバーで話しあう、それぞれの 国をテーマにしたレクリエーションなどを楽しむ。

年齢	経歴
18	慶応義塾大学 法学部政治学科・入学
21	国際ワークキャンプ参加 (トルコ・payas)
	帰国後 大学内で説明会を開催したり、説明会で体験を話したり広報活動を行う。
22	国際ワークキャンプ (ギリシア・イタキ島)
	新卒して業務ソフトウェアメーカーに入社。ソフト開発・サーバー保守等の業務
23	NICE の広報チームの活動を開始
	NICE 社会人チームの立ち上げ、始動。
24	つくば、清内路など多数の週末ワークキャンプを開始
30	転職。デバイスメーカーで IT エンジニアになる。
	… to be continue
趣味・特技	野球、旅行、地図を見ること、アナログなゲーム (なぞなぞ等) ファシリテーション、
座右の銘	キャッチボールは世界を救う。
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
16 歳のときに イギリス ホワイト島にて 2 週間のホームステイを経験した。	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
1 回目（トルコ）：単純に、普通と違う旅行がしたかったから。観光地ではなく、観光地以外のところに安く長く滞在したかった。
2 回目（ギリシア）：1 回目は日本人が多いワークキャンプだったが、もっと国際色豊かな環境で、活動したかった。（当時就職活動などを体験し、日本の生き方、考え方について違和感のようなものを覚え、何かと将来が不安になり気づいたら参加志願を出していた。）

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
ちゃんと現地集合できるかなど細かい不安はあったが、一度海外に到着したら「何が起きててもまあどうってことない！」と国内にいる自分には考えられないくらい強気の開き直りができた。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
特に止められたりしたことはない。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
大学卒業直後、ボランティアや国際交流とは関係なくスキルを求めて IT 関連の会社に就職した。
1 年くらいたって、会社にいるだけでは世界が狭くなるなどデメリットを強く感じ始め、休日や業務時間外は会社以外の場所で活動して成長したいと思い、NICE の広報や、社会人チーム活動を開始した。当時は「プロボノ」「パラレルキャリア」という言葉はなかったが、そのスタイルを実践していた。（国際ワークキャンプで通じてできた海外の友人は、20 代後半でも働きながら大学に通うという生活をしている人が多く、日本のような単純な「学生」「社会人」という立場・区分の意識が弱いことを知り、その影響で型にはまった生き方に拘ることはなかった。
また NICE のチーム活動でもとりわけライフスタイルや働き方の多様性をテーマに、参加型のワークショップ（働き方をとことん考える「ワークスタイル合宿」など）を中心に行っており、その背景にはワークキャンプで得た経験が生きている。
現在はこれまでのパラレルキャリアの 2 つの接点を求めて人生模索中。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>これまで当たり前だと思っていたものが、どんどん当たり前じゃなくなる。幸か不幸か、私たちはそんな時代に生きています。何もしないまま日々すごしていると、ただ時の流れに翻弄されるだけになりそうです。</p> <p>そうなるくらいなら、思い切って違う世界に飛び込み、自分から自分の中に染み付いた「当たり前」をぶっ壊しにいきましょう。（参加してなくてもできるかもしれないけど、参加すればもっと簡単に壊せます！）</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）